



## 2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月1日

上場会社名 ユニフォームネクスト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3566 URL <https://uniformnext.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横井 康孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 早川 光人 TEL 0776 (43) 1034  
 半期報告書提出予定日 2025年8月8日 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	4,681	11.5	279	27.8	282	20.8	208	38.2
2024年12月期中間期	4,197	12.7	219	△11.2	234	△9.0	150	△9.7

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	20.64	-
2024年12月期中間期	15.11	15.01

(注) 2025年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有していないため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	5,651	3,540	62.6
2024年12月期	4,946	3,358	67.9

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 3,537百万円 2024年12月期 3,358百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	-	0.00	-	3.50	3.50
2025年12月期	-	0.00	-	-	-
2025年12月期（予想）	-	-	-	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,845	17.3	581	29.9	585	25.3	386	18.8	38.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年12月期中間期	10,123,178株	2024年12月期	10,112,598株
2025年12月期中間期	10,778株	2024年12月期	10,778株
2025年12月期中間期	10,104,626株	2024年12月期中間期	9,988,391株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況.....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況.....	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況.....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得の改善やインバウンド需要の拡大により、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、物価上昇や人件費の高騰、政治情勢の不透明感、地政学的リスクの高まり、米国の通商政策による影響などにより、先行き不透明な状況となっております。

かかる状況の下、当社は、売上の伸びを継続し市場シェアを拡大することを目指しつつ、効率的なメールマガジン、広告の運用を行いながら取引顧客のLTV（ライフタイムバリュー）の向上に注力いたしました。マーケティング部門においては、新規顧客開拓に加えて、既存顧客へのアプローチを強化し、客単価の改善に取り組みつつ、防寒服やファン付き作業服といった季節商材の販売拡大に努めました。また、主力商品を中心に在庫を豊富に確保することで機会損失リスクを低減いたしました。営業部門では、当社で開発を進めているアプリを活用したユニフォーム提案サービスの拡充や、営業プロセスの合理化、大口顧客開拓を通じて高単価の受注を取り込みました。

販売状況に関して、サービス部門においては、当社オリジナル商品の販売が好調だった影響もあり、主力の医療スクラブやドクターコートの売上は伸長しました。また、飲食業界向けのエプロンやシャツの販売は緩やかに拡大しましたが、コックコートや和風商材の需要は低迷しました。これらの結果、同部門の売上高は1,565,644千円（前年同期比2.4%増）となりました。

オフィスワーク部門においては、熱中症対策義務化の影響に加えて、気温の上昇に伴いファン付き作業服の注力商材であるハイバックアイテムの予約販売が好調に進捗し、春夏用作業服やポロシャツといった季節商材の売上も堅調に推移しました。加えて、ヘルメット商品の旺盛な需要も売上高拡大に寄与しました。これらの結果、同部門の売上高は2,489,219千円（同9.1%増）となりました。

利益については、プロダクトミックスの変化による商品原価率の低下、売上高広告宣伝費率の低下、流通コストの効率化等により、営業利益が増加いたしました。

以上の結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高4,681,540千円（前年同期比11.5%増）、営業利益279,886千円（同27.8%増）、経常利益282,845千円（同20.8%増）、中間純利益208,569千円（同38.2%増）となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### (資産)

当中間会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ704,283千円増加し、5,651,192千円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ711,551千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が81,764千円減少したものの、受取手形及び売掛金が335,366千円、商品が435,722千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ7,267千円減少いたしました。これは主に、有形固定資産・無形固定資産の取得32,078千円と減価償却費41,700千円によるものであります。

#### (負債)

当中間会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ521,969千円増加し、2,110,211千円となりました。流動負債は、前事業年度末に比べ571,973千円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が429,057千円、電子記録債務が82,963千円、未払法人税等が55,429千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ50,004千円減少いたしました。これは、長期借入金の返済によるものであります。

#### (純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ182,314千円増加し、3,540,981千円となりました。これは主に、譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行による資本金の増加2,708千円、資本剰余金の増加2,708千円、中間純利益208,569千円及び剰余金の配当35,356千円によるものであります。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、2,276,817千円となり、前事業年度末に比べ、81,764千円減少いたしました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、35,685千円となりました。これは主に、税引前中間純利益324,345千円、減価償却費41,700千円と売上債権の増加335,366千円、棚卸資産の増加435,226千円、仕入債務の増加512,021千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、32,089千円となりました。これは主に、有形固定資産・無形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、85,360千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出50,004千円、配当金の支払額35,356千円によるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年2月6日の「2024年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当中間会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,358,581	2,276,817
受取手形及び売掛金	338,126	673,493
商品	569,753	1,005,476
貯蔵品	1,707	1,211
その他	17,939	40,796
貸倒引当金	△161	△295
流動資産合計	3,285,948	3,997,499
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,320,993	1,292,806
構築物（純額）	27,098	24,798
機械及び装置（純額）	15,557	25,115
工具、器具及び備品（純額）	10,085	10,777
土地	216,779	229,229
有形固定資産合計	1,590,513	1,582,727
無形固定資産		
ソフトウェア	9,774	7,966
その他	905	878
無形固定資産合計	10,679	8,844
投資その他の資産	59,767	62,121
固定資産合計	1,660,961	1,653,693
資産合計	4,946,909	5,651,192
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	352,308	781,365
電子記録債務	286,455	369,418
1年内返済予定の長期借入金	100,008	100,008
未払法人税等	72,473	127,903
契約負債	29,334	32,623
賞与引当金	40,000	48,669
その他	399,345	391,909
流動負債合計	1,279,924	1,851,897
固定負債		
長期借入金	308,318	258,314
固定負債合計	308,318	258,314
負債合計	1,588,242	2,110,211
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	368,751	371,460
資本剰余金	373,020	375,728
利益剰余金	2,617,105	2,790,318
自己株式	△210	△210
株主資本合計	3,358,667	3,537,296
新株予約権	—	3,684
純資産合計	3,358,667	3,540,981
負債純資産合計	4,946,909	5,651,192

## （2）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）	当中間会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）
売上高	4,197,464	4,681,540
売上原価	2,670,483	2,968,440
売上総利益	1,526,980	1,713,100
販売費及び一般管理費	1,307,908	1,433,214
営業利益	219,071	279,886
営業外収益		
受取利息	0	42
補助金収入	3,991	149
ポイント収入額	8,400	2,267
受取講演料	433	954
その他	3,570	819
営業外収益合計	16,396	4,233
営業外費用		
支払利息	1,355	1,235
その他	—	38
営業外費用合計	1,355	1,273
経常利益	234,112	282,845
特別利益		
助成金収入	—	41,500
特別利益合計	—	41,500
税引前中間純利益	234,112	324,345
法人税、住民税及び事業税	82,405	118,199
法人税等調整額	735	△2,423
法人税等合計	83,141	115,776
中間純利益	150,971	208,569

## (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	234,112	324,345
減価償却費	49,808	41,700
貸倒引当金の増減額（△は減少）	132	134
賞与引当金の増減額（△は減少）	△6,250	8,669
契約負債の増減額（△は減少）	11,506	3,289
受取利息及び受取配当金	△0	△42
支払利息	1,355	1,235
助成金収入	—	△41,500
売上債権の増減額（△は増加）	△252,257	△335,366
棚卸資産の増減額（△は増加）	△76,794	△435,226
仕入債務の増減額（△は減少）	278,715	512,021
未払金の増減額（△は減少）	172	46,149
未払又は未収消費税等の増減額	57,289	△149,519
その他	83,393	84,053
小計	381,184	59,943
利息及び配当金の受取額	0	42
助成金の受取額	—	41,500
利息の支払額	△1,355	△1,235
法人税等の支払額	△93,099	△64,564
営業活動によるキャッシュ・フロー	286,729	35,685
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,366	△30,048
無形固定資産の取得による支出	△1,610	△2,030
その他	△90	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,066	△32,089
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△41,670	△50,004
配当金の支払額	△39,941	△35,356
財務活動によるキャッシュ・フロー	418,388	△85,360
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	697,051	△81,764
現金及び現金同等物の期首残高	1,275,843	2,358,581
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,972,894	2,276,817



（4）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

当社は、ユニフォーム販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。